

ドイツ自転車市況－2010

1. 国内生産及び出荷

ドイツ二輪産業協会(ZIV)によると、2010年ドイツ国内の自転車出荷台数は前年比0.5%増の391万台、国内生産台数は前年比1.3%減の222万台となり、低調だった前年とほぼ横ばいの状態となったが、平均販売価格で見れば、2010年は460ユーロ(53,820円)と前年比3.1%増となり、過去5年間にわたり上昇を続けている。この価格上昇の要因は、後述のとおり、2009年に続き電動アシスト自転車(EPAC)の販売増加が貢献したためとみられる。

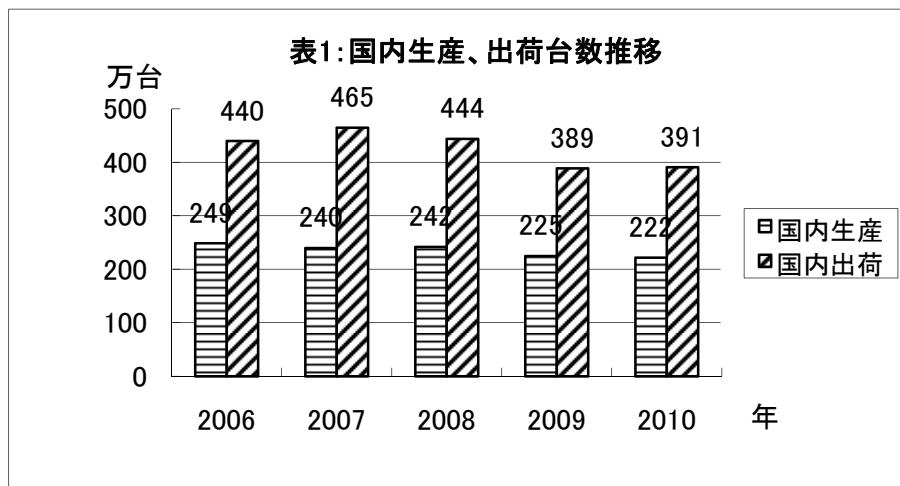


表2: 平均販売価格 (単位:ユーロ)

年	2006	2007	2008	2009	2010
全業態平均販売価格	345	368	386	446	460

2. 輸出

2008年から増加していた輸出は、2010年は前年比5.6%減の102万台と僅かに減少した。地域別では約9割がEU諸国向けであり、輸出上位5カ国はオランダ21.2万台、フランス18.9万台、オーストリア10.7万台、ポーランド6.0万台及びベルギー5.5万台であり、これらで全体の6割強を占める。前年並みのフランスとイタリアを除き、欧州各国への輸出台数は全般的に減少した一方で、スペインは4.5万台と前年の倍となり、チェコ共和国は同比17.2%増の2.5万台と復調した。

輸出平均単価では、2009年の全体平均259ユーロ(30,303円)から2010年は352ユーロ(41,184円)と、一気に100ユーロ(11,700円)も上昇した。これは電動アシスト自転車の輸出増加が一因である。国別の輸出平均単価では、オランダが456ユーロ(53,352円)、スイス438ユーロ(51,246円)、イタリア436ユーロ(51,012円)及び英国402ユーロ(47,034円)等が高

額となったが、輸出台数では上位でもフランスは 175 ユーロ (20,475 円)、ポーランドは 127 ユーロ (14,859 円) 等と全体平均を下回った。

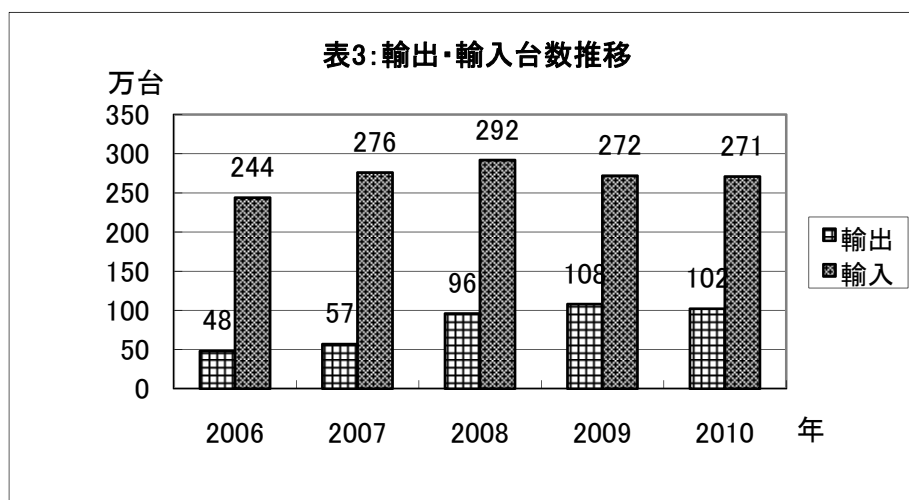


表 4: 地域別輸出台数 (単位:台)

輸出地域別	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年/前年比(%)	
EU 諸国	428,581	505,860	890,554	983,711	903,920	91.9%
その他の欧州諸国	45,516	54,247	59,504	72,038	76,191	105.8%
その他	7,345	13,997	12,486	22,221	40,879	184.0%
合計	481,442	574,104	962,544	1,077,970	1,020,990	94.7%

参考 1: 輸出台数上位 10 カ国 (単位:台)

輸出国別内訳	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年/前年比(%)	
オランダ	62,310	120,266	178,151	233,015	212,039	91.0%
フランス	91,926	38,342	74,280	187,829	188,783	100.5%
オーストリア	112,402	98,884	128,834	125,051	107,055	85.6%
ポーランド	12,435	40,261	101,067	71,568	59,545	83.2%
ベルギー	18,138	23,410	191,067	104,321	55,059	52.8%
スイス	39,687	45,656	46,203	56,453	52,063	92.2%
デンマーク	18,500	24,024	50,319	65,193	51,841	80.0%
スペイン	8,509	8,323	15,154	21,963	44,744	203.7%
イタリア	5,368	10,181	16,546	35,865	39,262	109.5%
チェコ共和国	41,869	51,922	50,338	22,104	25,906	117.2%

3. 輸入

2010年の輸入はごく僅かに減少し271万台となった。アジア地域からの輸入は減少を続け、EU諸国からの輸入は前年比1.7%増と僅かに増加に転じたため、アジア地域とEU諸国の差は若干ではあるが更に縮まった。

国別では、台湾からの輸入が依然として最多であるが、その台数は年々減少し、2010年は前年比3.8%減の38.9万台となった。他のアジア諸国では、タイが同比21.8%減の28.4万台、ここ数年でめざましく急増したカンボジアは同比31.5%減の8.9万台となったが、2009年に大幅減となったインドネシアは再び倍増の12.0万台となる等、アジア地域ではいまだに国ごとに変化がめまぐるしい。

表 5: 地域別輸入台数 (単位:台)

輸入地域別	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年/前年比(%)	
EU諸国	1,299,235	1,421,795	1,367,317	1,288,574	1,310,122	101.7%
アジア	1,092,144	1,299,737	1,494,724	1,368,948	1,324,921	96.8%
その他	47,685	35,033	54,663	64,211	70,393	109.6%
合計	2,439,064	2,756,565	2,916,704	2,721,733	2,705,436	99.7%

参考 2: 輸入台数上位 10 カ国 (単位:台)

輸入国別内訳	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年/前年比(%)	
台湾	509,398	438,975	424,848	404,489	389,061	96.2%
タイ	18,998	82,732	310,833	363,126	283,904	78.2%
ポーランド	400,274	230,306	347,548	272,558	254,267	93.3%
オランダ	102,851	117,423	156,115	252,572	236,294	93.6%
チェコ共和国	38,109	62,279	107,569	110,685	150,963	136.4%
リトアニア	330,186	251,888	266,443	179,493	148,185	82.6%
ルーマニア	31,466	45,700	97,059	85,135	142,328	167.2%
インドネシア	37,355	137,218	182,501	67,060	120,027	179.0%
ハンガリー	89,116	147,181	122,343	134,137	97,745	72.9%
オーストリア	56,200	53,985	63,324	79,584	94,353	118.6%

欧州地域では、ポーランドは前年比 6.7%減の 25.4 万台、オランダは同比 6.4%減の 23.6 万台と僅かに減少し、リトアニアは同比 17.4%減の 14.8 万台、ハンガリーは同比 27.1%減の 9.8 万台に落ち込んだのに対し、チェコ共和国が同比 36.4%増の 15.1 万台、ルーマニアは同比 67.2%も増え 14.2 万台、オーストリアは同比 18.6%増の 9.4 万台及びブルガリアは同比 45.4%増の 8.8 万台となり、依然として欧州域内でも変化は続いている。

輸入平均単価では、アジア地域では台湾が 214 ユーロ (25,038 円) となり、全体の輸入平均単価 205 ユーロ (23,985 円) を上回ったものの、インドネシア 98 ユーロ (11,466 円)、タイ 161 ユーロ (18,837 円)、カンボジア 138 ユーロ (16,146 円) と全体平均を下回った。

欧州地域のうち、オランダは 392 ユーロ (45,864 円)、オーストリアは 386 ユーロ (45,162 円) 及びフランス 365 ユーロ (42,705 円) などと、全体平均を上回る高額であるが、ポーランドは 135 ユーロ (15,795 円)、ブルガリアは 127 ユーロ (14,859 円) 及びルーマニアが 117 ユーロ (13,689 円) と平均を下回った。しかしながら、チェコ共和国は 272 ユーロ (31,824 円)、ハンガリーは 255 ユーロ (29,835 円) など、全体平均を上回る中東欧諸国もあり、欧州では地域ごとではなく国によって差異がみられる。

4. 販売業態別シェア

販売業態別シェアでは、自転車小売専門店が前年より 1%増の 69%と 7 割近くにまで達した。過去 5 年間、自転車小売専門店シェアは 10%もの拡大を見せた一方で、量販全体のシェアは 1%減少し 25%となり年々減少している。自転車小売専門店のシェア続伸の要因は、電動アシスト自転車の販売好調によるものである。ドイツでは自転車購入の際、品質やサービスを重視し自転車小売専門店で購入する傾向が依然として強く、高額な電動アシスト自転車の場合はその傾向が顕著である。

表 6: 販売業態別シェア

販売形態	2006 年	2007 年	2008 年	2009 年	2010 年
自転車小売専門店	56.0%	59.0%	63.0%	68.0%	69.0%
デパート・DIY 店・小型スーパー	36.0%	34.0%	30.0%	26.0%	25.0%
通信販売・インターネット	6.0%	6.0%	6.0%	5.0%	6.0%
その他	2.0%	1.0%	1.0%	1.0%	0.0%

5. 車種別販売シェア

車種別シェアでは、トレッキング車がシェアを更に増やし 35%と全体の約 3 分の 1 を超え、シティ車も 25.0%とシェアを増やし、オランダ型及びツーリング車も少しずつ増えている。これは通勤等の日常の移動手段として、自転車利用の機会が増えているためとみられ、その中でも、レジャーと日常利用の両方で使い勝手のよいトレッキング車の人気は根強い。また、電動アシスト自転車は前年よりシェアが 1%増え 5.0%に達し、2005 年の集計開始からシェアを順調に伸ばす一方で、幼児車は横ばい状態、子供車は年々シェアが減少している。更に

レジャーやスポーツでの利用が主の車種では、MTBは11%前後で横ばいとなりATBやレース用自転車等のシェアは年々減少を続けている。

表7：車種別販売割合

車種	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
トレッキング車	30.0%	32.0%	33.0%	34.0%	35.0%
シティ車	25.0%	23.0%	23.5%	24.5%	25.0%
ATB	13.0%	11.0%	10.0%	9.0%	8.0%
MTB	11.0%	12.0%	12.0%	11.0%	11.0%
子供車	6.0%	6.0%	5.0%	4.0%	3.5%
幼児車	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	2.5%
オランダ型及びツーリング車	2.0%	2.0%	2.5%	2.5%	3.0%
レース用自転車／フィットネスバイク	8.0%	7.5%	7.5%	7.0%	6.0%
電動アシスト自転車	1.0%	1.5%	2.5%	4.0%	5.0%
その他	1.0%	2.0%	1.0%	1.0%	1.0%

6. 電動アシスト自転車

2010年ドイツでの電動アシスト自転車(EPAC)の販売台数は前年比33%増の20万台となり、欧州全体では2010年は70万台に達し、EPACブームの火付け役であったオランダを抜いてドイツが最大の販売台数となり、欧州一のEPAC市場となった。

EPACの輸出は前年比47.7%増の4.8万台となり、輸入は前年比68.8%増の13.2万台に達した(参考3)。そのうち、アジア地域からの輸入は、同比71.4%増の11.8万台となり、同車種の輸入数の9割近くを占めるほどの急増をみせ、2010年の国内販売台数20万台の半数以上を占めた。EPACの輸出平均単価は808ユーロ(94,536円)であり、全体の輸出平均単価352ユーロ(41,184)の倍以上の高額であり、輸入平均単価でも596ユーロ(69,732円)と全体の輸入平均単価205ユーロ(23,985円)と比べてもEPACが高額商品であることが分かる。

EPACの販売価格は、量販では700ユーロ(81,900円)未満であるが、同車種販売は自転車小売専門店が中心であり、その価格は2,000ユーロ(234,000円)前後にも達するとみられる。ZIVによると、ドイツではEPAC販売は、数年間は増加を続け2018年頃までに市場規模は40~60万台にも達する見込みであり、同車種は高付加価値商品として同国製造業者及び小売店双方からますます期待が高まっている。

2011年のドイツ自転車市場の見通しについてZIVでは、一般用の自転車販売は軟調であっ

ても、現在好調の EPAC の販売数は続伸し、同車種を主に扱う自転車小売専門店はこの高額商品の消費者需要に支えられ、引き続き高い販売シェアと販売金額を維持し、EPAC が市場全体けん引し堅調に推移するとみている。

表 8： 電動アシスト自転車販売台数（単位：台）

年	2006	2007	2008	2009	2010
販売台数	40,000	70,000	110,000	150,000	200,000

参考 3： 電動アシスト自転車輸出入台数（単位：台）

	地域別	2009	2010
輸 出	EU 地域	29,000	41,300
	その他	3,500	6,700
	計	32,500	48,000
輸 入	EU 地域	9,400	14,000
	アジア地域	68,800	117,950
	その他	-	50
	計	78,200	132,000

以 上

統計出所：ドイツ二輪産業協会（ZIV）

（国際業務部）